

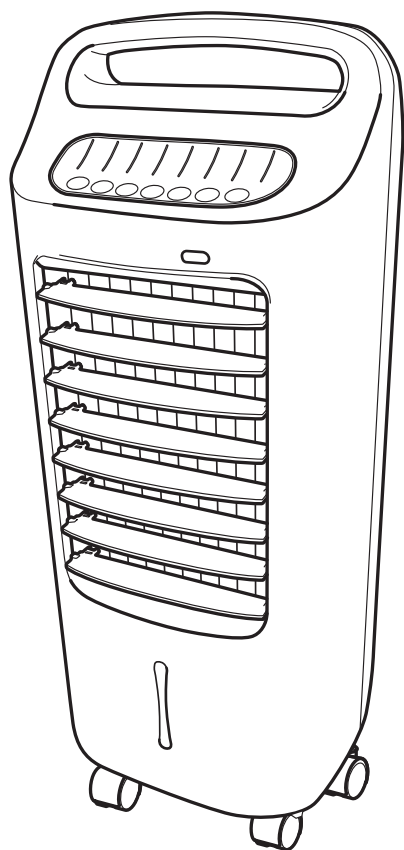
AucSale

加湿つき温冷風扇 なごみ

AHC-117

取扱説明書

保証書つき



このたびは加湿つき温冷風扇 なごみ AHC-117 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 2

仕様 3

各部のなまえ 4

お使いになる前の準備 5

使いかた

送風運転を開始する 7

冷風運転する 8

温風運転/温風+加湿運転する ... 8

風の向きを変える 9

イオン運転する 9

切タイマーを予約する ... 10

運転を終了する 10

ご愛用の手引き

お手入れ/保管のしかた ... 11

故障かなと思ったら 13

別売品 14

アフターサービス 15

お客様相談窓口 15

保証書 16

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



電源コードが傷んでいたたり、コンセントの
差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付
着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い
方や、交流 100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・
故障の原因になります。



使用中は電源コードを束ねない
熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火
の原因になります。



電源コード・電源プラグを破損するよう
なことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、
感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、
ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、コード
ホルダーに強く巻きつける など



電源プラグを抜くときは、電源コードを持
たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



お手入れをするときは必ず電源プラグをコ
ンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



延長コードは絶対に使わない

壁のコンセントは 2 口、3 口であっても、本製品をお使
いの際は単独でお使いください。コンセントや電源プ
ラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



壁や家具などの近くで使わない、壁に押しつけない
モーターに負荷がかかり、異常発熱の原因になります。
壁や家具などから前方 60cm、上方・後方・側方 4.5cm
以上離して、設置してください。



犬や猫などのペットの冷暖房用には使わない
ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災・故障の原因に
なります。



保冷剤のフタは絶対に開けない
冷却剤に触れたり、誤って飲み込んだりして健康を害す
る恐れがあります。



風を長時間、体に直接当てない
健康を害する原因になります。特に、乳幼児・お年寄り・
ご病気のかたは注意してください。



水タンクに水道水以外の物を入れない
ガソリン・灯油・40℃以上のお湯・化学薬品・汚れた水などは
入れないでください。事故・故障・けが・汚れの原因になります。



本製品は家庭用のため、業務用として使わない
故障の原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜
いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・
漏電・火災の原因になります。



キャスターを、必ず本体底面の四隅に取り
つけて使う

転倒によるけがの原因になります。



本体を移動するときは、水タンクを取り外
して運ぶ

けが・床を濡らす原因になります。



水タンクを使わないときは水を捨てる
水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてくださ
い。お手入れをせずにお使いになると、水アカやミネラ
ル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発生
したり、健康を害する原因になります。



フィルターの掃除は定期的に行う
ホコリなどがたまり、異常発熱や故障の原因になります。



使用中、使用直後はルーバー（吹き出し口）な
ど熱い部分には触れない
やけどの原因になります。

仕様

品名（型番）	加湿つき温冷風扇 なごみ(AHC-117)
サイズ（約）	幅 305 × 高さ 758 × 奥行 304mm（キャスター含む）
電圧	AC100V
周波数	50 / 60Hz
消費電力	冷風 50W、温風 1210W、最大 1250W

重量（約）	6.9kg
電源コード長さ（約）	1.8m
付属品（個）	リモコン（1）、ボタン型電池 （CR2032）（1）、ストッパー付きキャ スター（2）、キャスター（2）、保冷剤（2）
生産国	中国

※付属のボタン型電池はテスト用です。

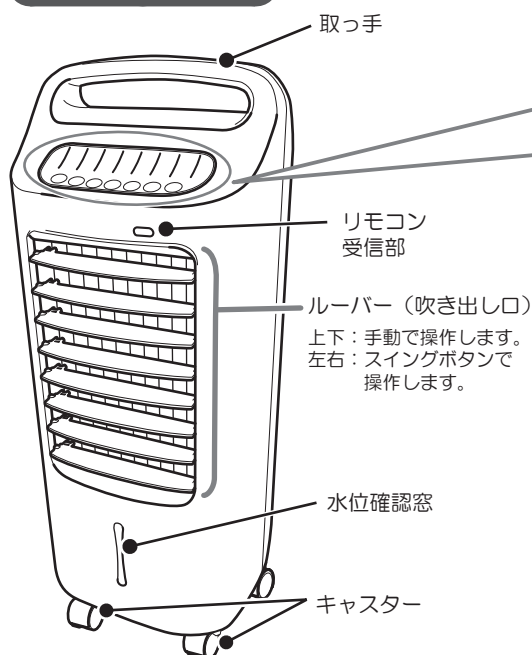


この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

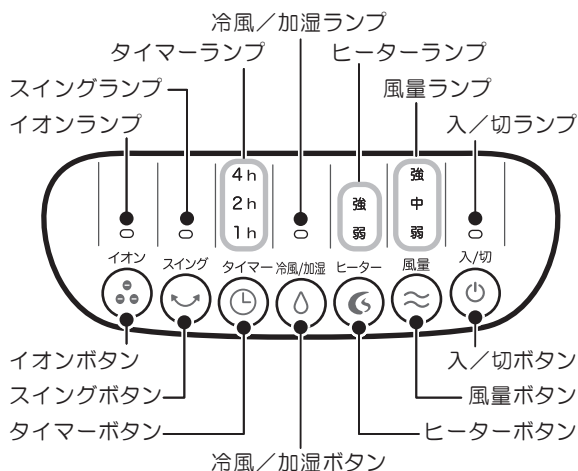
各部のなまえ

- 本機は、夏場は水の気化熱を利用して冷風を送り出す冷風扇風機として、冬場は加湿した空気をヒーターで温めて送り出す温風扇風機として、一年を通してお使いいただけます。

本体（前面）

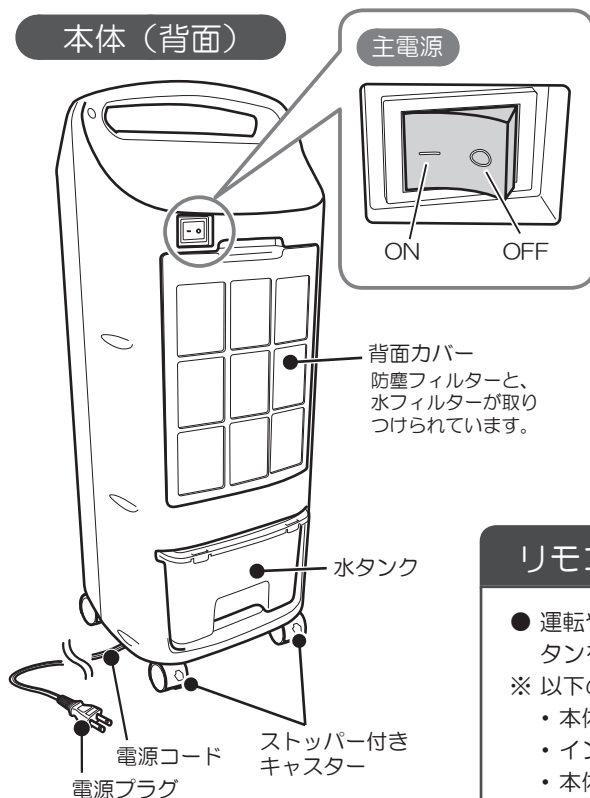


操作パネル／ランプ

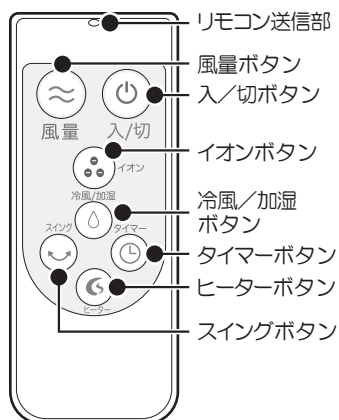


- 入／切ボタンを押して、電源をオンにすると、前回電源を切ったときの設定で運転が開始します。

本体（背面）



リモコン



付属品

保冷剤



リモコンの使いかた

- 運転や設定をするときは、リモコンの送信部を本体に向けて、ボタンを押します。
- ※ 以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。
 - ・ 本体の受信部とリモコンの間に障害物がある場合
 - ・ インバーター照明器具、電子瞬時点灯照明器具をお使いの場合
 - ・ 本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合

お使いになる前の準備

キャスターを取りつける

1 タオルなどの柔らかいものを敷いて、その上に本体を横倒しに置く

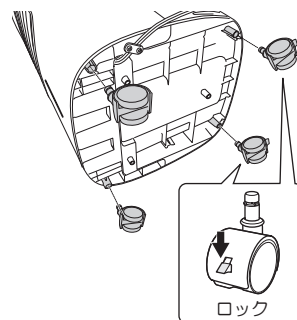
- 床に本体を直接置くと、床に傷が付く原因になります。

2 キャスターを本体底面の四隅の取り付け穴に押し込む

- キャスターが外れないように、取り付け穴の奥までしっかりと押し込んでください。
- キャスターは、ストッパー付きのものとストッパー無しのものが2個ずつ付属しています。通常は本体背面側にストッパー付きのキャスターを取りつけてください。



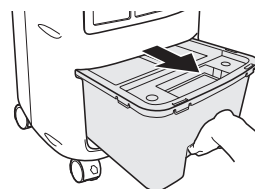
※ ストッパー付きキャスターは、ロックした状態で取りつけてください。本体が不意に動き、けがや故障の原因になります。



水を入れる

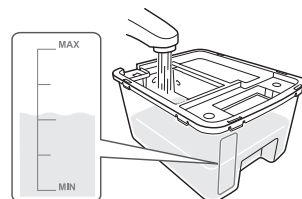
冷風／加湿＋温風運転をするときは必ず水タンクに水を入れてください。

1 本体から水タンクを手前に取り出す



2 水タンクに水を入れる

- 水を入れる量は水位表示の「MIN」と「MAX」の目盛の範囲内としてください。
- 水タンクには最大（「MAX」の目盛の位置）で5.5リットルの水が入ります。



※ 水道水を使用してください。

※ 水が「MIN」の目盛の位置以上に入っていないと冷風／加湿運転はできません。水位が「MIN」の目盛の位置まで下がったら、水を補給してください。

※ 水を「MAX」の目盛の位置以上に入れると水漏れや故障の原因となります。

※ 水タンクには40℃以上のお湯を入れないでください、水タンクが変形する恐れがあります。

3 本体に水タンクを戻す

保冷剤を使う

冷風運転をするときに、さらに冷たい風を出したい場合は、付属の保冷剤を冷凍庫で凍らせて、水タンクの中に入れてください。



- ※ 絶対に保冷剤のふたを開けないでください。
- ※ もし保冷剤の中身が皮膚についた場合は、すぐに石鹸と水でよく洗ってください。
- ※ もし保冷剤の中身を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- ※ もし保冷剤の中身が目に入った場合は、すぐに水でよく洗い、異常があったときは医師の診断を受けてください。
- ※ 保冷剤を使用して冷風運転をすると、水タンクが結露することがあります。水滴が床に落ちる恐れがありますので、ご注意ください。

1

保冷剤を冷凍庫で凍らせる

- 保冷剤は 3 ～ 4 時間程度で凍ります。



※ 保冷剤は凍ると膨張します。冷凍庫内のスペースにご注意ください。

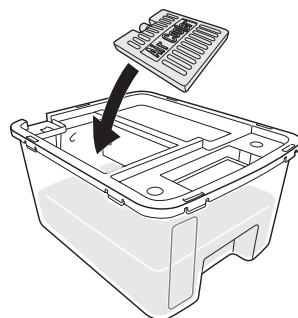
2

水タンクに保冷剤を入れてから水を入れる

- 保冷剤は、水を保冷できます。
- 保冷剤は水タンクの左側に入れてください。
- 保冷剤の効果がなくなったら、再度冷凍庫で凍らせてください。



- ※ 水タンクに水を入れてから保冷剤を入れると、水があふれる恐れがあります。
- ※ 水タンクの右側に保冷剤を入れると、正常に冷風運転ができなくなる恐れがあります。



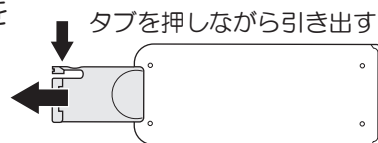
リモコンの電池を取り替える

※ 本体がリモコンの操作を受け付けなくなったときは、市販の新しいボタン型電池（CR2032）× 1 を交換してください。

※ お買い上げ時は、テスト用の電池が入っています。フィルムを引き抜いてからお使いください。

1

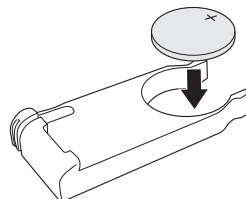
リモコンを裏返し、下図のタブを押しながら電池トレイを引き出す



2

古い電池を新しい電池に交換する

- 印字面（＋側）を上向きにしてボタン型電池を電池トレイに入れる



3

電池トレイをリモコンに入れる

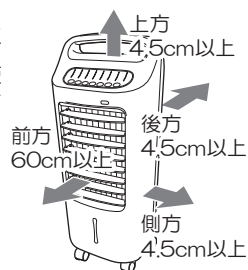


※ 本体がリモコンの操作を受け付けなくなったときは、市販の新しいボタン型電池（CR2032）と交換してください。

風の種類	ボタン	機能
送風		ファンのみの送風運転
冷風	 + 	気化熱効果でひんやりとした風
温風		ヒーターによる温風運転
温風+加湿	 + 	温風に加湿機能をプラス

※本体が傾いていると、自動電源遮断装置が働き電源が入りません。

※ 壁や家具などから右図の寸法を離して使用してください。火事や事故、故障の原因になります。



送風運転を開始する ファンのみの送風運転

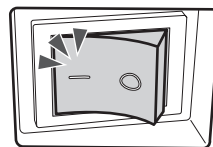
1 本体の主電源が切れていることを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

3 本体の主電源を入れる

- 「ピッ」という音がします。



4 本体またはリモコンの入／切ボタンを押して、運転を開始する

- 本体の入／切ランプが点灯して、送風運転が始まります。



※ 背面カバーが本体に取り付けられていないと、安全装置が働き電源が入りません。



5 本体またはリモコンの風量ボタンを押して風量を切り替える

- 現在の風量に応じて、本体の風量ランプ「弱」「中」「強」が点灯します。
- 風量ボタンを押すたびに、風量が1段階ずつ強くなります。風量が「強」のときに風量ボタンを押すと、風量は「弱」に戻ります。



冷風運転する 気化熱効果でひんやりとした風

1 運転前に、水タンクに水が入っていることを確認する



※ 水タンクの「MIN」の目盛の位置以上に水が入っていることを必ず確認してください。

2 送風運転を開始する

⇒送風運転については、7 ページの「送風運転を開始する」を参照してください。

3 本体またはリモコンの冷風／加湿ボタンを押して、冷風運転に切り替える

- 冷風運転中は、本体の冷風／加湿ランプが点灯します。
- 冷風／加湿ボタンを押すたびに、冷風運転の作動／停止が切り替わります。



※ 水タンクの水量が不足しているときは、アラーム音が鳴り、冷風運転が停止します。

冷風/加湿



温風運転する／温風 + 加湿運転する

送風運転中に、本体またはリモコンのヒーターボタンを押すと、温風運転に切り替えることができます。

- 温風運転が「弱」のときにヒーターボタンを押すと、「強」になります。「強」のときにヒーターボタンを押すと、温風運転から送風運転に切り替わります。再度、ヒーターボタンを押すと、温風運転の「弱」に戻ります。
- 温風運転中は、風量の調節はできません。



※ 温風運転から送風運転に切り替える場合は、60 秒ほど風が自然に冷えるのを待ってください。

ヒーター



さらに本体またはリモコンの冷風／加湿ボタンを押すと、温風＋加湿に切り替えることができます。

- 温風運転中は、本体のヒーターランプが点灯します。
- 冷風／加湿ボタンを押すたびに、加湿運転の作動／停止が切り替わります。

冷風/加湿



風の向きを変える

本体またはリモコンのスイングボタンを押すと、左右のルーバーの作動／停止を切り替えて、風の向きを変えることができます。

- 本体のスイングランプが点灯中は、本体のルーバーが左右に動いて風の向きが変わります。
- スイングボタンを押すたびに、ルーバーの作動／停止が切り替わります。

スイング

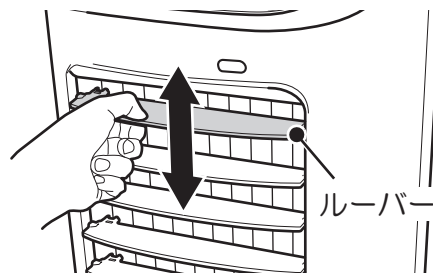


上下の風の向きを変える場合は

ルーバーを手で上下に動かします。ルーバーを 1 つ動かすと、連動してすべてのルーバーの上下の向きが変わります。



※ 使用中、使用直後は、ルーバー（吹き出し口）など熱い部分に触れないでください。



風の向きを変える

イオン運転する

イオン運転する

本体またはリモコンのイオンボタンを押すと、マイナスイオンの発生／停止を切り替えることができます。

- イオンランプが点灯中は、マイナスイオンが発生します。
- イオンボタンを押すたびに、マイナスイオンの発生／停止が切り替わります。

イオン



切タイマーを予約する

運転中に、本体またはリモコンのタイマーボタンを押すと、予約した時間になると、自動的に運転が停止するように切タイマーを設定できます。

- 切タイマーは 1 時間から 7 時間までの範囲（1 時間単位）で設定できます。
- 運転中にタイマー設定ボタンを押して、自動的に運転が停止するまでの時間を設定してください。タイマー設定ボタンを押すごとに、「1」「2」「4」のタイマーランプが以下の順に点灯します。

1 時間：「1」 → 2 時間：「2」 → 3 時間：「1」「2」
→ 4 時間：「4」 → 5 時間：「1」「4」 → 6 時間：「2」「4」
→ 7 時間：「1」「2」「4」 → (消灯)

※ 切タイマーの時間は、点灯しているタイマーランプの合計時間になります。

- 切タイマーの予約を解除する場合は、切タイマーの時間を 0 時間（すべてのタイマーランプが消灯）に設定し直してください。
- 本体またはリモコンの入／切ボタンを押して電源を切ると、切タイマーの予約も解除されます。

タイマー



運転を終了する

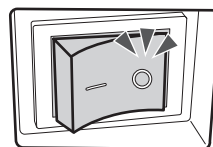
1 本体またはリモコンの入／切ボタンを押して、運転を停止する

- 入／切ランプが消灯します。

入/切



2 主電源を切る



3 電源プラグをコンセントから抜く



※ 背面カバーを取りはずす時は冷風または温風 + 加湿運転の作動を終了し、60 秒ほど待ってから取りはずしてください。フィルターに含まれた水がこぼれて床を濡らす原因になります。

お手入れ／保管のしかた



- ※ お手入れや保管は、電源を切って、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- ※ 本体およびリモコンを丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。故障の原因になります。
- ※ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

お手入れする

本体

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯が薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞って拭く。
- 本体や壁・床とのすき間に溜まったほこりは、掃除機で吸い取る。

水タンク

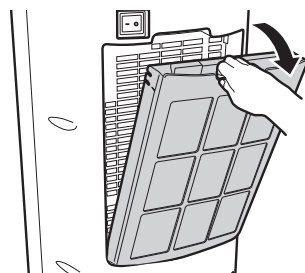
- 水洗いをして、柔らかい布で拭く。
- 水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水アカやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発生したり、健康を害する原因になります。

防塵フィルター、水フィルター

- 防塵フィルターや水フィルターにごみやほこりが付着すると、風量が弱くなったり、本体が熱を持って故障の原因になります。下記の手順で、定期的（1 か月に一度を目安）にお掃除してください。

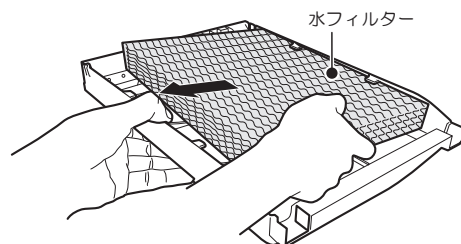
1 背面カバーを取りはずす

- 取っ手部分を持って手前に引きます。



2 背面カバーから水フィルターを取りはずす

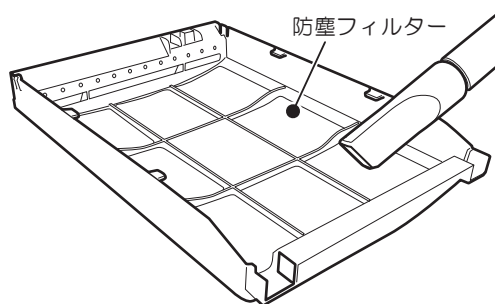
- 背面カバーのツメ部分を横に広げながら、水フィルターを取り出します。



3 水フィルターを水洗いして、よく乾燥させる

- 次の場合は、水フィルターを新しいものに交換してください。
 - ・ お手入れしてもにおいや汚れが取れない。
 - ・ 傷みがひどい。
- ⇒ 部品の交換については、14 ページの「別売品」を参照してください。

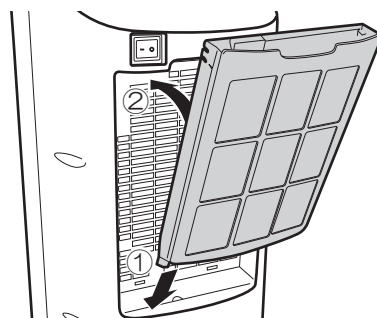
4 本体背面の防塵フィルターにたまったごみや ほこりは、掃除機で吸い取る



5 水フィルターを背面カバーに取りつける ● 背面カバーのツメ部分を広げながら、水フィルターを取り付けます。

6 背面カバーを本体背面にしっかり取りつける

- ① 背面カバー下部のツメを本体に取りつける
- ② 背面カバー上部を押して取りつける

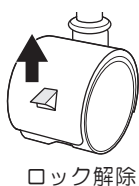
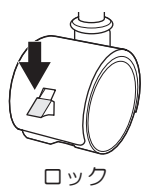


保管する

- お手入れをした後、元の包装ケースに入れるか、ポリ袋をかぶせてほこりや湿気の少ないところで保管する。

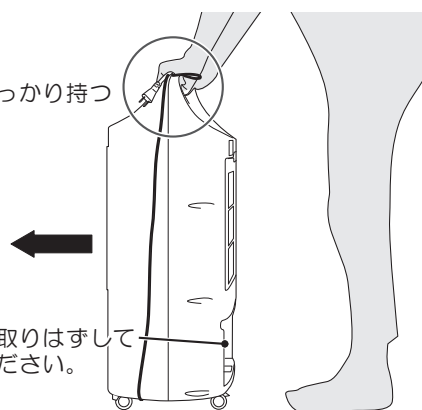
本体を移動するときは

- ストッパー付きキャスターのロックを外してから、取っ手部分をしっかりと持って移動させてください。



- ※ 移動させるときは、周囲に人や物がいないことを確認してください。けがや故障の原因になります。
- ※ 電源コードは、引きずらないように手で持ってください。故障の原因になります。
- ※ キャスターのロックは解除して移動してください。床を傷つける原因になります。

取っ手をしっかり持つ



水タンクを取りはずして移動してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	原因	対策
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	停電していませんか。	運転中に停電した場合は、本体の電源を切って、 電源プラグをコンセントから抜いてください。 停電復帰後に、再び電源を入れてください。
	本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。	転倒時自動電源遮断装置が働き、運転が停止している場合があります。本体を平らな場所に置いて、お使いください。
	本体周囲の温度が高くなっていませんか。	過熱防止装置が働き、自動的に電源が切れている場合があります。電源が切れたときは、サポートセンター（03-5413-6125）までお問い合わせください。
	背面カバーが本体にしっかり取り付けられていますか。	背面カバーがしっかり取り付けられていないと、安全装置が働き電源が入りません。
リモコンで操作できない。	本体に向けて操作していますか。	リモコンを本体に向けて操作してください。
	電池が消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。 ⇒電池の交換については、6ページの「リモコンの電池を取り替える」を参照してください。
	電池の入れ方（＋と－の方向）が間違っていますか。	電池を正しい向きで入れ直してください。
	本体とリモコンの間に障害物はありませんか。	障害物を取りのぞいてください。
使用中、電源ランプ・電源コードが異常に熱くなる。	たこ足配線を使っていますか。	たこ足配線の使用を中止してください。たこ足配線を使って他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。
	電源プラグが抜けかけていませんか。	電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
	差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。	コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。
	電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていないですか。	使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。

故障かなと思ったら

こんなとき	原因	対策
使用中、電源ランプ・電源コードが異常に熱くなる。	電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。	定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
	コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。	サポートセンター（03-5413-6125）に、修理・交換を依頼してください。
冷風・温風＋加湿運転ができない。	水タンクの水位が、「MIN」の目盛以下になっていませんか。	水タンクに水を入れてください。 ⇒給水については、5ページの「水を入れる」を参照してください。
風が弱い。	防塵フィルターに、ごみやほこりが付着していませんか。	定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
悪臭がする。	水タンク、水フィルター、防塵フィルターがよごれていませんか。	定期的に、水タンク、水フィルター、防塵フィルターを掃除してください。 ⇒お手入れのしかたについては、11～12ページの「お手入れ／保管のしかた」を参照してください。
電源を切ったのに運転が停止しない。	温風運転をしていませんでしたか。	温風運転直後は、ヒーターを冷やすために60秒ほど送風が続きます。

別売品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

部品名	部品コード
水フィルター	AHC-107WF
リモコン	AHC-107RC

長年ご使用の 加湿つき温冷風扇の点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認 業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この加湿つき温冷風扇の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞ TEL: 03-5413-6125 FAX: 03-5413-6128 E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com 受付時間: 午前 10 時～午後 5 時 (土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く)	＜修理センター＞ 〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター
---	--

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。



AucSale サポートストア
<http://aucsale.jp/>